

さんわ便り

第168号
発行所
さんわグループ
編集 広報部
大分市森町

いのちは誰のものか

「いのちは誰のものか」という、武雄の谷川理宣先生のお書きになったものです。

私たちは自分の「いのち」は自分の所有物であり、従って自分の自由にできると思っています。

しかし、よく考えてみると、「いのち」は私の自由ではありませんでした。また自由にはできておりません。

私が生まれ出る時も自由では有りませんでした。また恐らく死ぬ時も自由ではないはずです。私の「いのち」は私が気が付いた時には、すでに「与えられていた」のです。

誰もが自分の力で「いのち」を生み出だして生まれてき

たのではなかったはずですが、父と母とを直接の縁としていただいたものです。

しかし、私達はいつの間にか、知識が増すと共に、「与えられたいのち」を「私のいのち」であると、「いのち」までも自分の所有物にしてしまいます。

その時から、私達は顛倒(ひんどう)（さかさま）のいのちを生きていることになるのです。真実の眼を失って生まれてきたのか忘れてしまいます。今生きている私の「いのち」は無数のはたらきに支えられています。

太陽の光と熱、水の恵み、空気の恩、大地の支え、などです。しかし、自己中心の考えに立つ限り、それを当たり前にしてしまいます。

「これ、いくらしたの？」と尋ねられるとちよっと困る。

私たちに手がかりは必要ですけれども、形・姿が見えない仏さまの光にいつも照らされている。いつも阿弥陀さまの光に私は照らされている存在である。いつも見られている、私の姿を照らして下さる仏さまの眼がこの私に向かって注がれている。そのまなざしは、私に向けて、かけがえのない、他の人に代わり得ない、

尊い大切ないのちを、この身にいただいているものだと常に喚びかけています。同時に、私たちの身にいたりたいのちとしては限りがある。人生のどこかの段階で限りがあります。どこかの段階といえは悠長な言葉で、今、息の出し入れの真つ只中でというのがリアルティがあるとありますが、限りある人生の時間を大切に過ごさなければいけない——受け止める側はそうなるのですね——。

このように、私の「いのち」は無数の大きなはたらきと無数の生命の犠牲において始めて存在し得るのです。また、家を1歩出ると、素晴らしいアスファルトの道路です。今しゃべっている日本語、お金の計算、すべて教えて頂いた先生が居ます。雨、風、暑さ、そんなものをよける校舎もありました。このような私である

人生とは、その日、その日の、法縁である **金子 大栄**

ホームページは「お墓のさんわ」で検索してください。

日出店：速見郡日出町川崎会下(空港道路入口)	TEL (0977) 72-6415
三重店：豊後大野市三重町赤嶺1041(トライアル横)	TEL (0974) 22-3301
森町店：大分市横尾2733-1(大東中学入口)	TEL (097) 524-6525



このように、私の「いのち」は無数の大きなはたらきと無数の生命の犠牲において始めて存在し得るのです。また、家を1歩出ると、素晴らしいアスファルトの道路です。今しゃべっている日本語、お金の計算、すべて教えて頂いた先生が居ます。雨、風、暑さ、そんなものをよける校舎もありました。このような私である

ホームページは「お墓のさんわ」で検索してください。

日出店：速見郡日出町川崎会下(空港道路入口)	TEL (0977) 72-6415
三重店：豊後大野市三重町赤嶺1041(トライアル横)	TEL (0974) 22-3301
森町店：大分市横尾2733-1(大東中学入口)	TEL (097) 524-6525

たために自分のできたことはほとんど有りません。従ってそれは自分の思いだけでは生きることが許されない「公のいのち」であり、広く深い「いのち」であったのです。私のいのちは「願われているいのち」です。「いのちそのもの」が私となって「真実に生きよ」「いのちの願いに生きよ」と私に呼び掛けています。

無数の生命の犠牲において始めて存在し得るのです。また、家を1歩出ると、素晴らしいアスファルトの道路です。今しゃべっている日本語、お金の計算、すべて教えて頂いた先生が居ます。雨、風、暑さ、そんなものをよける校舎もありました。このような私である

今年もお陰様にて12ヶ月発行することができました。皆様方の激励とお育てのおかげです。本当にありがとうございます。今年もまた良き人(善き師、よき友)との出逢いに感謝するばかりです。今年もあと数日です。ゆつくり一年をふりかえり、年の瀬の忙しいなか、お体に気をつけて、風邪などひきませないように……。良いお年を……

編集後記